

# 日本政治学会 会報

The JPSA News

No.44

DEC. 2002

## 就任にあたって

理事長 加茂 利男

日本政治学会理事長という大任を仰せつかりました。まことに心許ない限りですが、会員の皆様のご協力を得てなんとか務めさせていただきたいと思えます。学会というのは、会員個々人の研究にはそれほど深い日常的な関わりをもたない形式的・儀礼的な組織のようにもみえますが、やはりディシプリンを共有する研究者の学問コミュニティであり、また個々の研究者の交流・情報コストを低減させる機能を持った制度インフラであって、これがこわれたり機能なくなると皆が困ることになります。会員数の増加とともに、学会をめぐる考え方や利害も多様化し、従来のような牧歌的な学会運営は難しくなっていますが、「ソーシャル・キャピタル」としての学会の重要性を再認識し、寛容で公正な学会運営に向けて協力し合う雰囲気をつくっていきたいと思っております。よく考えてみると、いま日本の政治学と政治学会は大変大きな曲がり角の時期を迎えようとしているように思います。

いうまでもなく20世紀は、洋の東西を問わず、政治学が目覚しく発展した世紀でした。何年前か、アメリカ政治学に関するオーラル・ヒストリーの書物を読んだのですが、面白かったのはアメリカ政治学を代表する錚々たる学者たちの多くが大学に入ったころは政治学を専攻しようなどとは夢にも思わず、法律家などをめざしていたと述懐していたことです。すなわちアメリカでも、政治学は今世紀半ばまで科学としてディシプリンとして社会的に認知されておらず、政治学を専攻する学生も多くはなかったようなのです。それが50年代以降政治学の学問的進化と制度化が進み、学生や研究者が急速に増加して、学問としても学会としても成長・成熟をとげたのです。この事情は相当な位相のズレがあったにせよ、日本の政治学にも当てはまることでした。1950年に

会員数150人であった日本政治学会（田口富久治『戦後日本政治学史』東京大学出版会 2001年）が、いまや1500人を優に超える大学会に成長したことをみても、このことはよくわかります。

しかし、いま「20世紀システム」のゆきづまりや混沌と軌を一にするかのように、政治学と政治学会にも曲がり角の時期が訪れようとしております。

第一に、少子高齢化時代の到来とともに、大学全体が進学者数の停滞・減少に伴う再編統合・経営危機、教職員の削減などに直面し、政治学もその埒外にはおれなくなっていることです。第二に、日本では政治学の講座や学科は多くのばあい、法学部のなかに置かれてきましたが、その法学部が法科大学院設立に向かって動いており、少なからぬ大学ではロースクールの教員ポスト確保のために政治学ポストが削減されるという、日本特有の事態も生じております。

全体として、今後政治学の教員ポストや学生数が頭打ちから減少へ向かうことが予測でき、だとすればそれは早晚政治学会の会員数にも跳ね返ってこざるをえません。これからの学会運営は、こうした政治学と政治学会をめぐる環境変化を考慮に入れたものにならざるをえないでしょう。

こうした時期に日本政治学会は、2006年世界政治学会（IPSA）大会の開催という大事業に取り組むことになっています。もちろん、IPSA大会の開催をプラスに生かして日本の政治学と政治学会の活力の維持を図っていきたいのですが、それはそう生易しいことではないかもしれません。いずれにせよ、こうしたただならぬ時代のなかで、本学会がサステナビリティを保持していくためには、会員の皆様にご協力をお願いしなければなりません。こうした事情をご賢察下さいますよう、就任に当たってお願い申し上げます。

## 2003年度企画委員会からのお知らせ

2003年度企画委員長 中邨 章

日本政治学会2003年度研究会（尚美学園大学）における自由論題の報告者を下記の要領で募集致します。

- 1 募集人員：3名以上6名以内
- 2 募集期限：2002年1月31日
- 3 応募先：〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学政経学部 中邨 章 研究室
- 4 応募方法：論題に800字程度の報告の主旨を付し、封書にて郵送して下さい。（なお、封書表面に政治学会自由論題と朱書して下さい。）

- 5 採 否：企画委員会で審査し、その結果を2003年2月28日までに各応募者に文書にて連絡します。

なお、本件についてのお問い合わせは、中邨章宛に E-mail (nakamura@isc.meiji.ac.jp) または電話 (03-3296-2092) にてお願い致します。

## 研究業績自己申告のお願い

2003年度文献委員長 梅川 正美

今年度も例年のように会員の皆様の研究業績を『年報政治学』に「学会展望」として掲載いたします。同封の「研究業績自己申告用紙」をお使いになり、下記の要領で、主な業績の自己申告をお願い致します。

- 1 申告対象業績：2002年1月1日から同年12月31日までに刊行された業績。できるかぎり抜き刷りまたはコピーの同封をお願いします。お送り下さいました業績は返却できませんが、ご了解ください。

- 2 申告業績本数：主要なもの1、2本。
- 3 専門分野：申告用紙に掲載されている分野から選び該当番号をお書き下さい。
- 4 締め切り：2003年1月31日
- 5 申告書と業績の送り先：

〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12

愛知学院大学法学部内  
日本政治学会文献委員会  
梅川正美

（送り先は学会事務局とは異なりますので、よろしく申し上げます。）

## 2004年度『年報政治学』論文公募について

2004年度『年報政治学』に掲載する論文を、下記の要領で募集致します。

- 1 応募資格：下記の応募登録時において、日本政治学会会員であること。
- 2 主題：政治学に関わる如何なる主題も可。
- 3 分量：20,000字以内
- 4 応募登録：応募希望の会員は、2003年3月31日までに、同封の申し込み用紙で応募登録をして下さい。その際、封書の表に「年報政治学論文応募」と朱書して下さい。
- 5 論文提出：期限は2003年11月30日です。ハード・コピー（A4判、40字×30行）を3部提出して下さい。コピーは返却致しません。ご了解の上でご提出下さい。
- 6 採否：年報委員会の下に設置する審査委員会の

2004年度年報委員長 御厨 貴

審査を経て、年報委員会で掲載するか否かを決定し、2004年3月31日までに、応募された方に連絡致します。なお、採択された論文については、その後、改めてフロッピーディスクとハード・コピー1部の提出をお願い致します。

- 7 宛先：応募登録と論文提出の宛先は、次の通りです。

〒162-8677 東京都新宿区若松町2-2

政策研究大学院大学

オーラル・政策研究プロジェクトオフィス

御厨貴

- 8 問合せ先 TEL 03-3341-0458

FAX 03-3341-0446

電子メール infopope@grips.ac.jp

## 2002年度 第1回理事会記録

日 時：2002年6月8日（土）午後2時～3時20分

場 所：近畿大学本館 第4会議室

第1回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 年報委員会

2003年度年報委員長の渡辺浩理事より、公募論文に12名の応募があったことが報告された。また年報委員会の活動経費に関し、科研費に採択されなかったと判断されるため、学会からの援助を求める提案がなされ、審議の結果、予備費から共同研究への助成として55万円を支出することとした。今後、年報委員会の活動に対し、科研費が通らなかった場合の助成のあり方を検討する必要があることが確認された。

2002年度年報委員長の安世舟理事より、2002年度年報を年内には公刊できるよう努力する旨の報告がなされた。

#### (2) 国際交流委員会

国際交流委員長の蒲島郁夫理事より、APSAとの交流を進めていること、IPSAダーバン大会が2003年6月29日～7月4日に開かれること等が報告された。

### 2. 新入会員及び再入会会員承認の件

以下16名の入会が承認された。

浅野正彦、Md.Abdul Wadud Bhuiyan、柏谷泰隆、Guthmann Thierry、佐脇紀代志、清水唯一朗、下村勝巳、高橋愛子、土佐弘之、名和賢美、野口雅弘、野本啓介、廣部泉、藤本博、本間信長、松野弘（敬称略）

また以下1名の再入会が承認された。

三輪博樹（敬称略）

### 3. 事務局報告

藤原孝常務理事より、名簿を1,800部印刷し近日中に発送する予定であること、また国際交流基金の預入銀行を変更したことが報告された。

### 4. 次回理事会開催日の件

次回理事会は、2002年10月5日（土）愛媛大学において開催されることが提案、承認された。

### 5. その他

(1) 北原鉄也理事より、本年度の総会及び研究会開催（於愛媛大学）に伴う挨拶があった。

(2) 理事長選出規程検討委員長の安理事より、同委員会において審議され合意に至った事項、及びそれらを踏まえた理事長選出規程案について説明があった。

(3) 堀江湛理事長より、2001年度第3回及び第4回理事会記録の一部を修正することが提案、承認された。

## 2002年度 第2回理事会記録

日 時：2002年10月5日（土）12時15分～12時35分

場 所：愛媛大学 法文学部本館会議室

第2回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 年報委員会

2002年度年報委員長の安世舟理事より、本年度年報を12月中旬頃までに刊行できる見通しであることが報告された。2003年度年報委員長の渡辺浩理事より、本年8月に合宿を行うなど研究会活動が順調に進んでいることが報告された。

#### (2) 企画委員会

2002年度企画委員長の加藤節理事より、本年度の研究会が、若干の変更はあったものの、概ね順

調に進行していることが報告された。

## (3) 日韓交流小委員会

日韓交流小委員会の辻中豊理事より、韓国政治学会から22名の研究者が来日し、日本政治学会との間で交流が行われていることが報告された。

## (4) 文献委員会

2002年度文献委員長の小野耕二理事より、「学界展望」の原稿が9月末までに全て揃ったことが報告された。

## 2. 監事選任の件

秋月謙吾監事の任期満了に伴い、堀江湛理事長より江上能義会員（琉球大）を新監事に選任することが提案、承認された。

## 3. 理事長選出規程改正の件

安理事長選出規程検討委員長より、第1回理事会に提出された原案を一部修正した理事長選出規程案、及び次期理事会運営規程案が提案、承認された。

## 4. 名簿作成に伴う会計措置の件

杉本幹事より、本年5月に発行した会員名簿の作成費用が予算を172,583円超過したことが説明された。不足分のうち、102,000円を一般会計予備費から名簿積立金会計に繰り入れ、70,583円を名簿積立金予備費から支出することが提案、承認された。

## 5. 新入会員承認の件

以下12名の入会が承認された。

新谷卓、安養寺信俊、小川原正道、加藤元宣、上川龍之進、金基成、下川原敦、西岡晋、西村篤子、細谷雄一、堀内直哉、光延忠彦（敬称略）

## 6. 事務局報告

藤原孝常務理事より、第1回理事会記録を一部修正の上、確定させることが提案、承認された。

## 2002年度 第3回理事会記録

日 時：2002年10月5日（土）12時35分～13時

場 所：愛媛大学 法文学部本館会議室

第3回理事会では以下の事項が報告、協議された。

## 1. 新役員構成の件

加茂理事長より新理事会の役員構成を次のようにしたいと提案があり、了承された（敬称略）。2003年度企画委員長 中邨章（明治大学）、2004年度企画委員長 新藤宗幸（千葉大学）、2004年度年報委

員長 御厨貴（政策研究大学院大学）、2005年度年報委員長 小林良彰（慶應義塾大学）、2003年度文献委員長 梅川正美（愛知学院大学）、2004年度文献委員長 市川太一（広島修道大学）、選挙管理委員長 石川捷治（九州大学）、国際交流委員長 久米郁男（神戸大学）、常務理事 稲継裕昭（大阪市立大学）。

## 2. 顧問選任の件

加茂理事長より、堀江湛前理事長を顧問に推薦したい旨提案があり、了承された。

## 2002年度 第4回理事会記録

日 時：2002年10月6日（日）12時40分～13時30分

場 所：愛媛大学 法文学部本館会議室

これについては、委員会での検討に基づき次回理事会で結論を出すこととされた。この他、国際交流活動のあり方とその拡大に関して意見の交換がなされた。

第4回理事会では以下の事項が報告、協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

中邨2003年度企画委員長から、企画委員を、石田徹（龍谷大学）、小林良彰（慶応義塾大学）、城山英明（東京大学）、杉本稔（日本大学）、関口正司（九州大学）、谷藤悦史（早稲田大学）、中西寛（京都大学）、中村昭雄（大東文化大学）、西尾林太郎（愛知淑徳大学）、藤本一美（専修大学）、笠京子（香川大学）、の各会員に委嘱し、共通論題を2、分科会を11程度用意する方向で検討している旨報告され、了承された。

#### (2) 年報委員会

御厨2004年度年報委員長より、特集テーマを「オーラル・ヒストリーと政治学」とすると共に、次回理事会までに年報委員を委嘱し、年内に研究会を開始させたい旨の報告がなされた。

#### (3) 文献委員会

梅川2003年度文献委員長より、内田みどり（和歌山大学）、北川忠明（山形大学）、定形衛（名古屋大学）、島袋純（琉球大学）、瀧口剛（大阪大学）、玉田芳史（京都大学）、月村太郎（神戸大学）、富田宏治（関西学院大学）、丸山仁（岩手大学）、森正（愛知学院大学）、柳原克行（大同工業大学）、力久昌幸（北九州大学）、渡辺博明（大阪府立大学）、の各会員に委員を委嘱したい旨報告があり、了承された。併せて、12月に業績自己申告のお願いをする旨報告があった。

#### (4) 国際交流委員会

久米委員長より、各小委員会の委員長を次のように委嘱した旨、報告があった（敬称略）。APSA担当 加藤淳子（東京大学）、日韓交流 木村幹（神戸大学）、ECPR担当 宮本太郎（北海道大学）。併せて、イギリス政治学会より2004年大会への1名派遣の打診がなされていることが報告された。

### 2. IPSA大会の準備について

2006年IPSA日本大会の準備のためにIPSA組織委員会の組織案が小林良彰同委員会事務総長代理より報告があり、了承された。小林事務総長代理からは併せて予算規模の試算の他、資金集めに必要な寄付免税措置の申請準備を現在行っている旨、報告がなされた。

### 3. 監事選任の件

河野康子監事より辞任の申し出があったことに伴い、加茂理事長より品田裕会員（神戸大学）をその後任の監事に選任することが提案され、承認された。品田新監事の任期は、河野前監事の残りの任期とすることが併せて確認された。

### 4. 次回理事会日程の件

次回理事会を、2002年12月14日（土）13時30分、明治大学で開催することが承認された。

## 2002年度 総会議事録

日 時：2002年10月5日（土）13時30分～14時15分  
場 所：愛媛大学法文学部 共通教育講義棟

1. 開会挨拶 北原鉄也理事（開催校：愛媛大学）
2. 理事長挨拶 堀江湛理事長
3. 委員会報告

2002年度年報委員会の安世舟委員長より、2002年度年報において公募論文を3本採択したこと、また12月中旬頃に年報を刊行する予定であることが報告された。2003年度年報委員会の渡辺浩委員長からは、年報の特集記事についての説明があり、併せてこれまでのところ作業が比較的順調に進んでいることが報告された。国際交流委員会からは（蒲島郁夫委員長欠席のため堀江理事長が報告）、IPSA大会が2006年に福岡で開催されること、及び政治学会としてその実施のための体制整備を進めていることが報告された。また日韓交流小委員会の辻中豊委員長より、韓国政治学会との交流事業についての説明が行われた。2002年度文献委員長の小野耕二委員長からは予定通り編集作業を終了したことが報告された。

#### 4. 決算・監査の件

藤原孝常務理事より2001年度決算についての報告があり、秋月監事より監査に関する報告を受けた後、承認された。

#### 5. 予算案の件

藤原常務理事より2002年度予算案についての説明があり、承認された。

#### 6. 新理事長挨拶 加茂利男理事長

#### 7. 役員選任の件

加茂理事長より、役員選任及び堀江前理事長を顧問に推薦したい旨報告があり、承認された。

選挙管理委員長  
国際交流委員長  
常務理事  
幹事  
幹事

石川捷治（九州大学）  
久米郁男（神戸大学）  
稲継裕昭（大阪市立大学）  
野田昌吾（大阪市立大学）  
大西裕（大阪市立大学）  
(敬称略)

また秋月監事の任期満了に伴い、第2回理事会で江上能義会員が新監事に選任されたこと、及び河野康子会員の辞任に伴い品田裕会員を新監事に選任する予定であることが併せて報告された。

#### 8. 新委員会報告

2003年度企画委員会の中邨章委員長より、2003年度総会及び研究会が尚美学園大学（埼玉）で開催されること、及び自由論題の公募について報告があった。2004年度年報委員会の御厨貴委員長より、12月に発行予定のニューズレターで論文公募に関する詳細を掲載する予定であることが報告された。2003年度文献委員会の梅川正美委員長より、研究業績の自己申告に関する報告があった。国際交流委員会の久米郁男委員長より、2002年度韓国政治学会への派遣事業、及び2003年度APSAへの派遣事業について説明があった。

#### 9. 閉会挨拶 北原鉄也理事（開催校：愛媛大学）

2003年度企画委員長 中邨章（明治大学）  
2004年度企画委員長 新藤宗幸（千葉大学）  
2004年度年報委員長 御厨貴（政策研究大学院大学）  
2005年度年報委員長 小林良彰（慶應義塾大学）  
2003年度文献委員長 梅川正美（愛知学院大学）  
2004年度文献委員長 市川太一（広島修道大学）

## 理事長選出規程及び次期理事会運営規程について

前理事長 堀江 湛

本年3月、会員の融和と開かれた学会のさらなる発展を目的として、安世舟理事を委員長とする理事長選出規程検討委員会が発足しました。諸規程のあり方に関し、これまで慎重に審議を重ねてきましたが、10月5日に開催されました第2回理事会におきまして、従前の理事長選出規程及び次期理事会運営についての申し合わせを全面的に見直し、以下の通り、新理事長選出規程の改正及び次期理事会運営規程の制定が行われましたので、ご報告致します。

### 〈日本政治学会理事長選出規程〉

- 第一条 理事長は、公選理事の中から選出する。
- 第二条 現理事長は、理事選挙後、理事選考委員会（日本政治学会理事・監事選出規程第八条）に先だつて、公選理事による次期理事長候補者選考委員会を招集する。
- 二 公選理事は、同選考委員会に欠席する場合、他の公選理事に議決権を委任することができる。
- 三 次期理事長選考委員会では、理事長に立候補した者、または推薦された者について投票を行い、過半数の得票を得て、第一位となった者を次期理事長候補者とする。
- 四 投票の結果、過半数の得票者がいない場合、上位二名につき再投票を行い、上位の得票者を次期理事長候補者とする。
- 五 再投票による得票が同数の場合は、抽選によって決定する。
- 第三条 選考理事を含めた次期理事会は、次期理事長候補者の理事長への選任について審議し、議決する。
- 二 理事は、欠席する場合、他の理事に議決権を委任することができる。

(2002年10月5日制定)

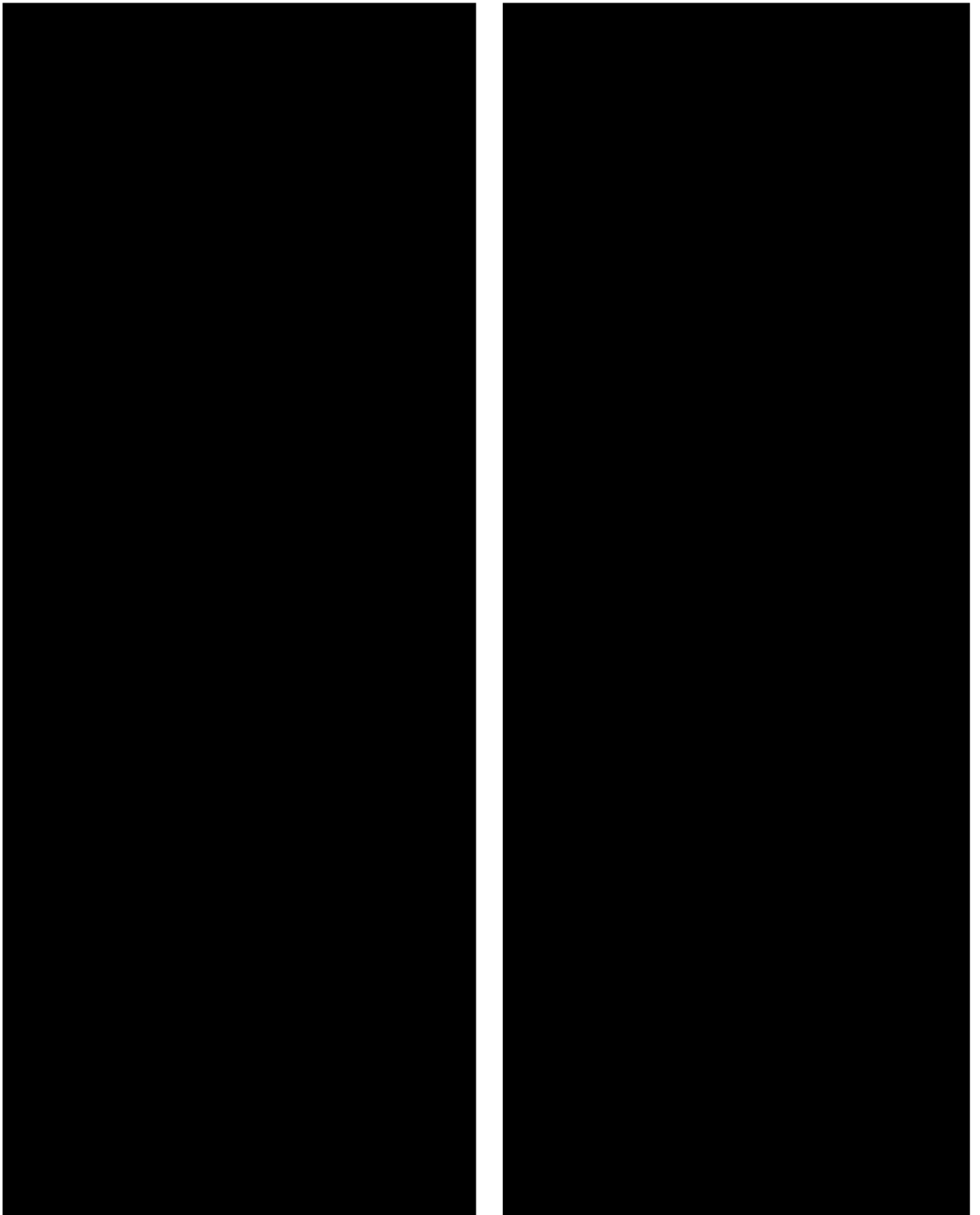
### 〈日本政治学会次期理事会運営規程〉

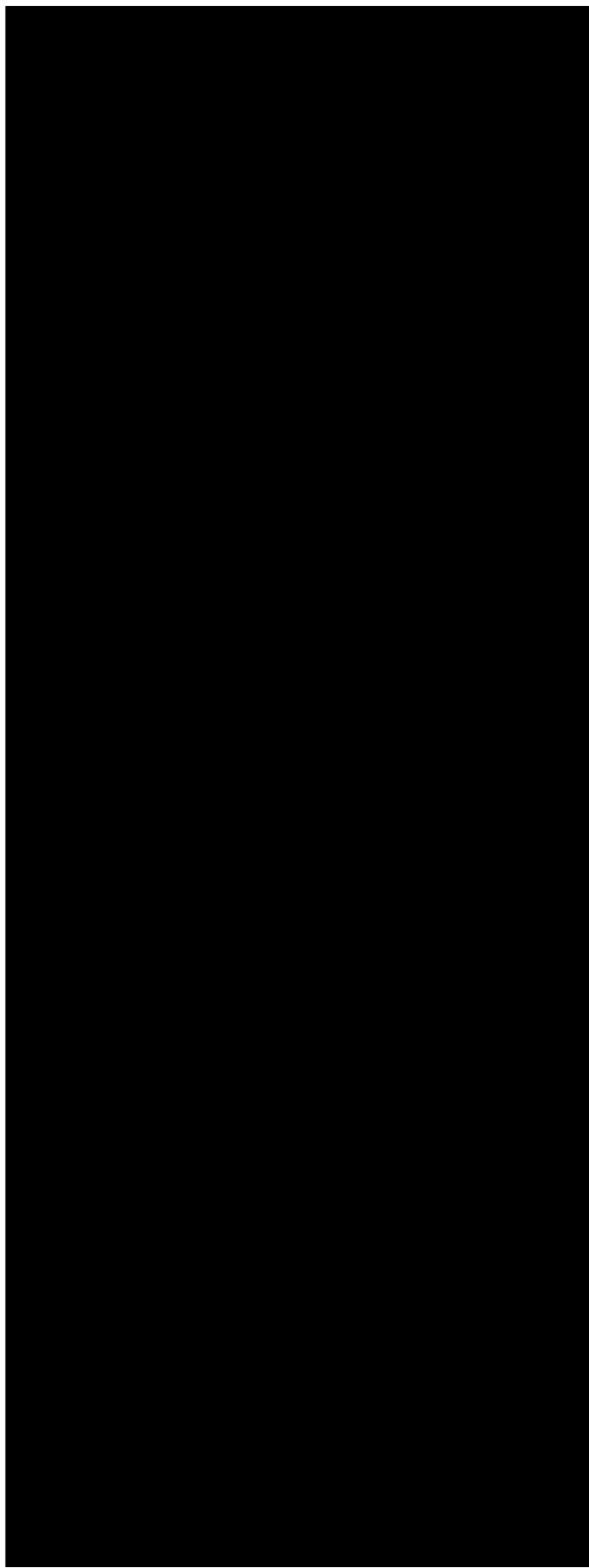
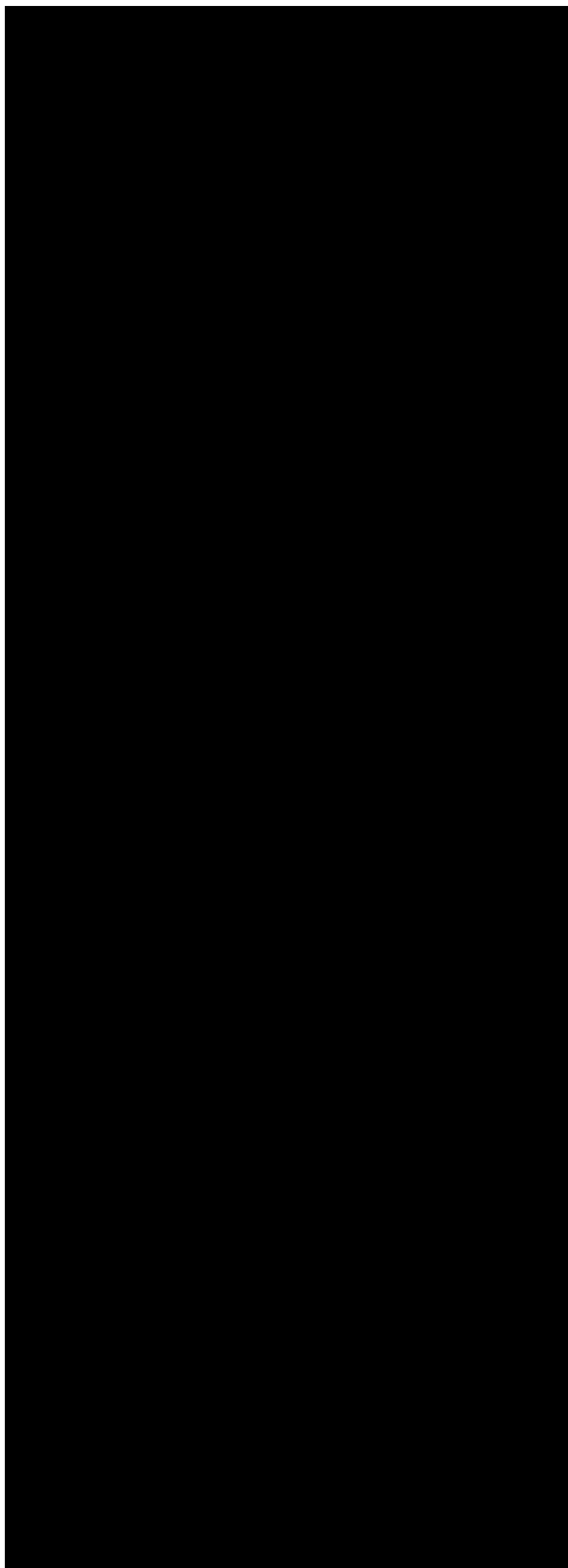
- 一〔総則〕次期理事が選出されてから、その任期が始まるまでの次期理事会は、本規程に従って運営する。
- 二〔構成〕次期理事会は、次期理事および次期監事によって構成する。
- 三〔招集〕次期理事会は、次期理事長が召集する。但し、第一回の次期理事会は現理事長が召集する。
- 四〔任務〕イ 次期理事会に関する事務は、次期常務理事が取り扱う。また、その経費は次期理事会経費に準じて学会事務局が支払う。
- ロ 次期理事会は、任期の間の次期常務理事、次期幹事、各種委員会の長および委員を必要に応じて委嘱できる。
- ハ 次期理事会は、任期の間の日本政治学会行事について、現理事会の委嘱にもとづき、企画、立案できる。
- 五〔記録〕次期理事会の記録は、次期常務理事の下でまとめ、次期理事会および現理事会の構成員に配布する。

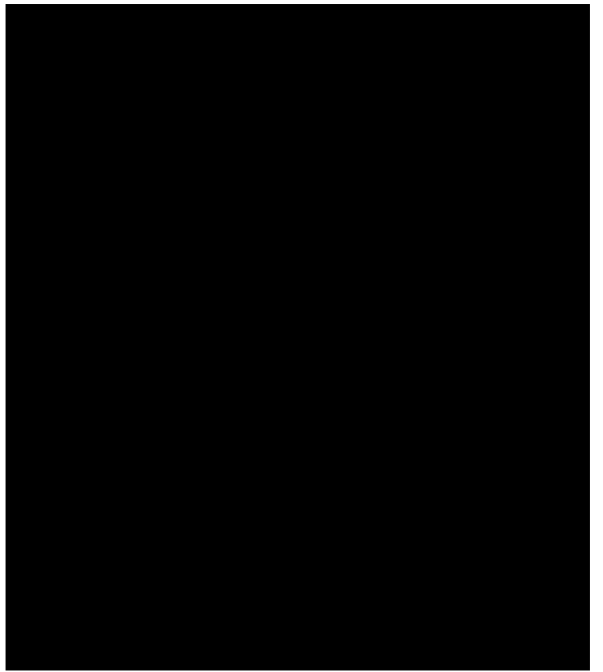
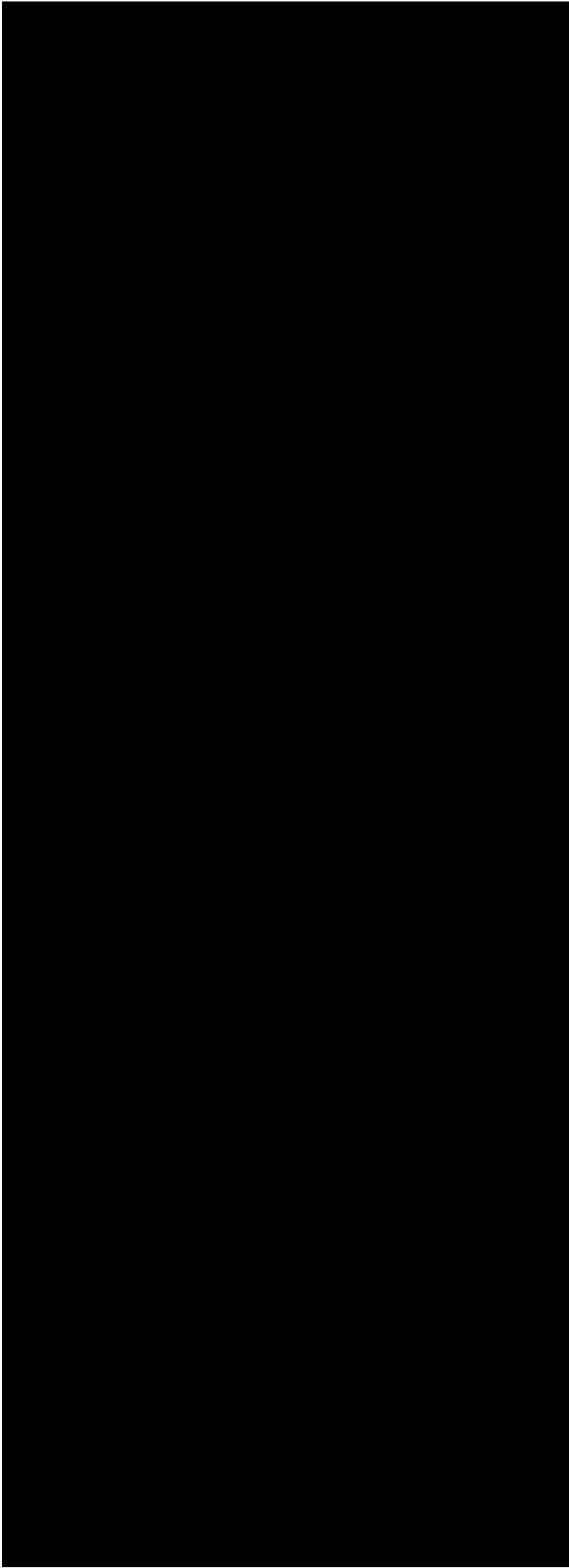
(2002年10月5日制定)



会員の異動







## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

年会費をまだ納めていただいていない会員の方が若干おいでになります。学会事務センターからもご案内させていただいておりますが、何卒速やかにご協力の程お願い致します。一般会員は7,500円、院生会員は5,000円です。

ご不明な点は学会事務センターまでお問い合わせ下さい。

### 事務局移転のお知らせ

2002年10月より、日本政治学会の事務局が日本大学から大阪市立大学へ移転しました。新事務局の連絡先は以下の通りです。

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学法学部内 日本政治学会事務局  
TEL&FAX 06-6693-5031

旧事務局に対する皆様からの2年間にわたる御厚意に感謝申し上げるとともに、新事務局へのより一層のご支援をお願い申し上げます。

### 本号の目次

1. 理事長就任にあたって .....1
2. 2003年度企画委員会からのお知らせ .....2
3. 研究業績自己申告のお願い .....2
4. 2004年度『年報政治学』  
論文公募について .....3
5. 理事会記録 .....4
6. 総会議事録 .....7
7. 理事長選出規程  
及び次期理事会運営規程 .....8
8. 会員の異動 .....9
9. 事務局より .....12

### 訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

- 半田輝雄氏 岡山大学名誉教授 政治学、政治思想史 1920年生  
堺 慎介氏 摂南大学法学部教授 イタリア反ファシズム史、政治思想 1930年生  
本橋 正氏 学習院大学名誉教授 国際政治史、外交史 1923年生  
坂本多加雄氏 学習院大学法学部教授 日本政治思想史、政治哲学

2002年12月15日

発行 日本政治学会事務局

藤 原 孝

〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1

日本大学法学部内

TEL & FAX 03-5275-8599

(財) 日本学会事務センター

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

会員業務 (退会、住所変更、会費)

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印 刷 (株) 明光社印刷所